

「いなくなっていたのに見つかった」  
(迷える者が見出されるとき)  
“Lost and Found”

ルカによる福音書 15章11～32節

聖学院大学 人文学部チャプレン エバート・D・オズバーン

テーマ： 私たちは、私たちの天のお父様のおられる家に帰ることによって、今、この時、それぞれの場  
にあって、よみがえりの命をもって生きることができます。そして、“私はもう大丈夫！”と宣言すること  
ができるのです。

聖書の中で、私の特に好きな話は、イエス様の語られたたとえ話の一つである、放蕩息子の話で  
す。これは、ルカによる福音書 15:11-32 に記されていますが、イエス様が弟子たちに話されたたと  
え話の中で一番長いものです。そしてこの話は、私自身も含めて、数え切れない多くの人々の人生に  
深遠なる影響を与えてきました。

誰もが知っているある一人の歴史上の人物に、放蕩息子と非常に近い人がいます。放蕩息子と同  
じように、この人は、斬新で、自信家で、女性関係においては甘く、金銭的には計画性なく軽率であり、  
また、非常に傲慢な若者でした。

この若者は、自分自身の才能に強く確信を持ち、贅沢な生活を愛する社交的な人となりました。  
彼は自分の欲望を満足することにふけりましたが、彼の周囲の人に対しては、冷淡で無神経でした。  
また、贅沢な彼の生活と高価な衣服の好みは、当然、金銭的欲望を高めていきました。

しかしながら、彼の成功の期間と、その人気・評判、又、富(財産)も、長くは続きませんでした。そし  
て彼の生活は悲嘆と、不幸と、波瀾、という言葉で言い表せられるものとなりました。5 年間の内に、  
彼の 3 人の子供(一人の息子と二人の娘)が亡くなり、その二年後には、最愛の妻、サスキア、も亡く  
なり、彼は、生後 9 ヶ月の息子、タイタス(テス)と共に残されました。

彼は、息子タイタス(テス)の看護師と非常に陰悪な状態に陥り裁判沙汰となり、看護師は、精神  
病治療施設に監禁されるという展開にまでなりました。又、彼は、他の女性との間に一人の息子と一  
人の娘がいましたが、その息子も幼年期に亡くなりました。

これらすべてのことが起こっている間、彼の人気・評判はおち、厳しい経済難に陥りました。実際、  
経済状態の悪化は、はなはだしく、破産を免がれるために彼の不動産をはじめ、家財の全てを競売  
にかけなければなりませんでした。

それ以来、彼は、借金とその借金の取立て人達から、生涯自由とはなりませんでしたが、50 代前  
半になったとき、彼は、心に平安を見出されるに至り、又、彼の芸術活動の中にも大きく影響を示して  
ゆきました。事実、これらの悲惨な彼の人生の出来事は、彼を人生を恨む、ひねくれた人間にはしま

せんでした。むしろ、これらの厳しい出来事は、清めのなかだちとなって働いたのです。ある人が、この時の彼についてこのように書いています。「彼は、人間と自然を、より鋭い目をもってとらえ始めた。」

尚、その後も、彼の人生は、家庭において相次ぐ不幸に取り囲まれてゆきました。二人目の彼の妻は、5年後に亡くなり、又、残されていた一人息子、タイタス(テトス)も亡くなりました。彼自身が亡くなる時も、彼は貧しく孤独で亡くなってゆきました。しかしながら、これらの悲惨な、困難な数々の出来事の中で、彼は彼の最高の傑作をいくつか残しました。

この著名な人物は、ちょうど放蕩息子のように、傲慢で、冷淡で、道徳観念に低く、お金に貪欲であり、利己主義という人生を始めましたが、あらゆる多くの試練と悲劇を通して、その後の人生は、人間を見つめ、愛し、靈的な人間存在と、その人間の神との関係に焦点をおき人生を全うしたのです。

この人こそが、レンブラント・ハーメンスズーン・ヴァン・リジン(1606年7月15日生、1669年10月4日没)でありました。ヨーロッパの歴史上、最も偉大な画家の一人であるレンブラントです。

彼が亡くなる一年前 1668年に描きあげた「放蕩息子の帰還」は、レンブラントの最も有名な絵画の一つです。

#### [放蕩息子の帰還]のコピーを配る

この実物大の絵は、ロシアのセント・ピーターズバーグ市の修道院の博物館に保管されていますが、レンブラントの作品の最高潮のもので、これは、作者自身の人生を反映した姿を象徴しています。剃り落とした頭を父の胸に押しつけ、父の前にひざまずくこの放蕩息子を見る時、私たちは、レンブラント自身の姿をたやすくキャンバスの上に想像することができます。かつての若きレンブラントが自信に満ち、その半生に得た華麗な生活に取りつかれた生き方は、その栄光のすべてが空しいものであることを証明することとなった厳しい悟りの結果となったのです。

人生において本当に大切なものが何であるかを学び悟った老年の憐れみ深い父親は、内なる光を映しているように見えるのです。おそらくこれが、レンブラントが自分自身を見た姿なのでしょう。かつての誇り高き若者が、自分自身の悲劇的人生を通して学び、築き上げた憐れみは、他人に対する深い思いやりや、隣人愛を持った人として成長していったのです。

「若者たちの富や人気の為のたゆまない追求を誘惑する栄光からの進展が、死をも越える人間の魂の隠された栄光へと変わっていったのである。」これは、ヘンリ・ナウエンの著書『放蕩息子の帰郷・父の家に立ち返る物語』(1992)の記述から参考にしたものです。

レンブラントは多くの有名な作品を残しましたが、自分自身の人生を省みて、これは彼にとって最も深い意味を持ったものであるかもしれません。そして、この中に私たちすべての者に送るメッセージが描かれているのです。

包括的尺度において、放蕩息子のたとえ話は人類の挿絵でしょう。人類は放蕩息子であり、高慢な者で、物質的富と道徳に反する生き方に幸福を見出そうとする幻想にたやすくそそのかされてゆく者であります。しかしその幸福の追求は、デッド・エンドつまり、行き止まりの道です。

神は人類の父親です。もし私たちが正気を取り戻し、自分の罪深さに気付くことができ、天の父なる神の前に悔い改めることができるなら、神のくしき恵みと憐れみの内に、神は我々を許してくださり、喜んで私たちの真の帰郷を受け入れてくださるのです。

ルカによる福音書の 15:18-19 の放蕩息子の言葉は、人の罪の悔い改めと、天の父なる神への献身の手本となる信仰告白です。『ここをたち、父のところに行って言おう。「お父さん、わたしは天に対しても、またお父さんに対しても罪を犯しました。もう息子と呼ばれる資格はありません。雇い人の一人にしてください」と。』

父は、息子の心からの告白を聞きすぐに赦し、僕たちに祝いの準備を直ちにするように申し付けています。ルカによる福音書 15:10 に言い表されていることが、神の大いなる喜びです。「一人の罪びとが悔い改めれば、神の天使たちの間に喜びがある。」

父は、勿論、いかなる時も息子を愛し続けていたことに注目して下さい。父は息子の欲するままに彼に選択の自由をあたえていましたが、家へ戻って来る息子をいつも受け入れることを望んでいました。実際、20 節に書かれているように、父は息子が帰る日を切望していました。「ところがまだ遠く離れていたのに、父親は息子を見つけて、憐れに思い、走り寄って首を抱き、接吻した。」

放蕩息子にとって、彼の帰郷は復活の経験に値するものです。罪の行き止まりの人生の道から、父の愛によって与えられた赦しを通して新しい望みを見出したのです。

そして、放蕩息子の父はこれを承認しています。24 節と 32 節「この息子は、死んでいたのに生き返り、いなくなっていたのに見つかった。」

聖なる、天の父なる神から離れては、私たちは皆、靈的に(迷い出て)死んでいるのです。私たちが、天の父のもとへ帰ろうと道を喜んで探すならば、私たちは、今この場にあつて、復活の命、生きた人生の目的と望みを持つことができます。

私たちが天の父なる神の前に共に立つならば、私の大好きなアメリカのカントリー・アンド・ゴスペル・シンガーであるジョニー・キャッシュの歌『もう大丈夫』をご一緒に歌うことができます。

ジョニー・キャッシュは、1932 年 2 月 26 日、世界大恐慌の真ただ中、アーカンサス州のキングランド市で、大家族のもとに生まれ、2003 年に亡くなりました。彼の家族の経済的困難と、彼自身の困難な人生の貧困と社会からしいたげられた苦境は、彼の歌に大きな影響を与えました。

ジョニー・キャッシュはクリスチャンとなり、彼が亡くなる 2003 年までの四十年間に素晴らしい職歴を残しました。彼は裕福になり、有名になりましたが、あらゆる意味で聖書の放蕩息子のようでもありました。

彼の名声と富は多くの問題をもたらしました。1950 年代後半、彼は飲酒にふけり始め、覚せい剤や催眠剤などの麻薬の常用者となり、また、女性問題の小競り合いで警察沙汰となり、最後には、妻との離婚にいたりました。しかしながら、その後、二番目の妻であったジューン・カーターによって非常に強く影響を受けました。彼らが出会った時は、彼女もすでにクリスチャン・カントリー・シンガーとして有名な歌手でした。

ジョニー・キャッシュは 1,000 曲を越える詩(うた)を書きました。その中には数多くのクリスチャン・メッセージが含まれています。そしてそれらの詩の中で、彼は“放蕩息子”としての自分のかつての年月の真実を隠さず語っています。時に、彼は自分は“罪人の中でも大罪人”であると、そして矛盾のかたまりの複雑な人間であったと宣言しています。

おそらく彼の人間としての正直さと弱さが彼の人気を高めたのでしょう。彼がした事を、たとえ私たちはしたことが無くても、彼の苦闘に共感することができるでしょう。そして、放蕩息子がしたように私たちも悔い改め、神の恵みを通して救われた者として彼と共に喜びを分かち合うことができるでしょう。

それでは、一緒にアメリカの有名な放蕩息子ジョニー・キャッシュによる『I'm Alright Now』『私はもう大丈夫』という、単純ではありますが、力強い歌を聞きましょう。

[CD] (文末に歌詞掲載)

私は本当にこの歌が大好きなのです。今日に、イエス・キリストの復活の力、そしてキリストによってのみ私たちは復活させられた人生を生かされることを心に留めましょう。

もし、主の前に、まだ自分の罪を告白し、赦しを求め、イエスの復活を信じ、クリスチャンとなっていない方がおられたら、どうか先に延ばさず、決断されることを私は心より願います。

もし、クリスチャンの方で、御自分の霊的生活において、闘いがあるならば、放蕩息子がしたように天の父なる神のもとへ帰還する道を見つけて下さい。主は手を大きく広げて待っておられます。

共に大いに喜び、心の中で『私はもう大丈夫！』を歌いましょう。

2014年5月7日 聖学院大学 全校礼拝

I'm Alright Now  
私は、もう大丈夫！  
ジョニー・キャッシュ

かつて、私は、放浪者。かつて、私は、ばくち打ち。  
幾度か、私は、問題を、起こした。  
粹(いき)な女性もたくさん知っていた。  
けれど、主よ、あなたを知ったあの日を祝してください。

[コーラス]

大丈夫、私は、もう大丈夫。  
悪魔の汽車に乗っていた。ところが、どうにか、飛び降りた。  
大丈夫、私は、もう大丈夫。  
天使ガブリエルよ、あなたのトランペットを吹いてくれ。私は、もう大丈夫。

かつて、私の気は狂い、不平不満の族[やから]だった。  
世話になった留置所で、地獄と背中合わせも味わった。  
ウイスキーを片手に、上機嫌。  
人には言えない事も幾つかあったさ。

[コーラス 4X]

(けど)大丈夫、私は、もう大丈夫。  
悪魔の汽車に乗っていた。ところが、どうにか、飛び降りた。  
大丈夫、私は、もう大丈夫。  
天使ガブリエルよ、あなたのトランペットを吹いてくれ。私は、もう大丈夫。

I'm Alright Now  
by Johnny Cash

I've been a rambler. I've been a gambler.  
I've been in trouble a time or two.  
I've know a lot [of] good lookin' women.  
But Lord, bless the day that I found You.

Chorus: I'm alright now, I'm alright now.  
I was ridin' on the devil's train, but I got off somehow.  
I'm alright now, I'm alright now.  
Gabriel, let your trumpet blow, I'm alright now.

I've been demented, been discontented.  
I've been in jail, pretty close to hell.  
I've been frisky on sippin' whiskey, yeah.  
And I've done a few other things that I'll never tell.

Chorus (4x's): (But) I'm alright now, I'm alright now.  
I've been ridin' on the devil's train, but I got off somehow.  
I'm alright now, I'm alright now.  
Gabriel, let your trumpet blow, I'm alright now.